

能楽研修発表会

第二十一回

青翔会

第九期能楽（三役）研修 研修修了発表会

令和二年

三月十日 火

午後一時開演（正午開場）

全席指定

舞囃子〔金春流〕芦刈

シテ 岩松 由実
 笛 高村 裕
 小鼓 岡本はる奈
 大鼓 柿原 孝則

地謡
 安達 裕香
 中野由佳子
 柏崎真由子
 村岡 聖美
 林 美佐

舞囃子〔喜多流〕田村

シテ 金子 龍晟
 笛 熊本俊太郎
 小鼓 曾和伊喜夫
 大鼓 柿原 孝則

地謡
 狩野 祐一
 塩津 圭介
 友枝 真也
 谷 友矩

舞囃子〔観世流〕羽衣

シテ 山階彌右衛門
 笛 平野 史夏
 小鼓 寺澤祐佳里
 大鼓 亀井 洋佑
 大鼓 澤田 晃良

地謡
 関根 祥丸
 清水 義也
 浅見 重好
 観世 芳伸
 井上 裕久

狂言〔和泉流〕隠狸

シテ／太郎冠者 野村万之丞
 アド／主 河野 佑紀
 後見 野村 万蔵

狂言語〔和泉流〕奈須与市語

語 上杉 啓太

半能〔宝生流〕石橋

シテ／獅子 大友 順
 ワキ／寂昭法師 御厨 誠吾
 笛 大野 誠
 小鼓 大倉源次郎
 大鼓 安福 光雄
 大鼓 姥浦 理紗

後見 東川 光夫
 金森 良充
 田崎 甫
 今井 基

地謡
 金森 隆晋 高橋 亘
 辰巳大二郎 今井 泰行
 東川 尚史 辰巳満次郎
 澤田 宏司 小倉伸三郎

入場料金（全席指定）

正面／1,500円 脇正面／1,000円 中正面／700円

学生：脇正面／700円 中正面／500円

※障がい者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日

電話・インターネット予約開始／2月9日(日) 午前10時より

窓口発売開始／2月10日(月) 〈チケット売場 午前10時～午後6時〉 ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

電話 国立劇場 チケットセンター（午前10時～午後6時）
 0570-07-9900 03-3230-3000 [一部 IP 電話等]

インターネット 国立劇場チケットセンター 検索

●プレイガイド＝チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>
 e+(イープラス) <https://eplus.jp/>



ユネスコ無形文化遺産
 UNESCO
 Intangible Cultural Heritage



主催：独立行政法人日本芸術文化振興会

国立能楽堂

青翔会

青翔会は、国立能楽堂能楽（三役）研修生をはじめとする若手能楽師の技能研鑽のための公演です。次代を担う若手能楽師たちが、日頃の稽古の成果を、披露するため、懸命に舞台を勤めます。

また、第九期研修生（上杉啓太【狂言方和泉流】、姥浦理紗【太鼓方金春流】）が、本年度をもって能楽（三役）研修を修了いたしました。今回の研修修了発表会にあたり、狂言語「奈須与市語」と、半能「石橋」を勤めさせていただきます。

皆様のあたたかいご声援をお待ち申し上げます。

舞囃子 声 刈

あしかり

都で貴人の乳母となった女が、従者とともに難波の浦にやって来ます。乳母はかつての夫を探していました。が、行方が分からず途方に暮れていると、声を売り歩く男と出会います。その男こそ、かつての夫、日下左衛門でした。

左衛門は落ちぶれた我が身を恥じて身を隠しますが、妻に呼びかけられ、晴れて再会を果たします。左衛門は喜んで祝儀の舞（男舞）を舞うと、妻と連れ立って都へと向かって行くのでした。

舞囃子 田村

たむら

東国の僧が、都見物に訪れ、清水寺で満開の桜を眺めていると、一人の童子が現れます。清水寺の縁起を語る童子に、僧はただならぬ気配を感じ、その素性を問うと、童子は田村堂へと姿を消しました。

夜、僧が桜の下で読経していると、坂上

田村麻呂の霊が現れます。田村麻呂は、千手観音の功德で敵の軍勢を打ち破った物語を語ると（翔）、また夜の闇に消えていくのでした。

舞囃子 羽衣

はごろも

三保の松原に釣りに来た漁夫の白龍は、松の枝に美しい衣がかかっているのを見つけ、持ち帰ろうとします。そこに天人が現れ、衣を返して欲しいと頼みますが、白龍は返そうとしません。

衣がなければ天に帰れない。天人の嘆きを聞き、白龍は天人の舞を見せてくれたら衣を返すといえます。天人は喜び、優雅な舞（序ノ舞）、（破ノ舞）を舞うと天に帰って行きます。

狂言 隠 狸

かくしだぬき

太郎冠者は狸獲りの名人だとの噂があり、主人は真偽を尋ねますが、太郎冠者

令和二年 三月十日 火

午後一時開演

（正午開場、午後三時四十分頃終演予定）

*字幕表示はありません。

は知らないといえます。すでに客を招いていた主人は、狸を買いに太郎冠者を市に走らせます。実は太郎冠者は昨夜大きな狸を獲っていて、主人に内緒で売り捌いてしまおうとしていました。

しかし、市にはすでに主人が先回りしていて、慌てた太郎冠者はとつさに狸を隠しますが、主人に酒を振るまわれているうちに…。

狂言語 奈須与市語

なすのよいちがたり

奈須与市語は、能「八島」（観世流は「屋島」）に「奈須（那須）」の小書がついた時に演じられる特殊な間狂言で、狂言方の重い習とされています。

奈須与市（那須与二）が扇を射落とす場面を語ります。

半能 石橋

しゃつきょう

清涼山を訪れた寂昭法師の前に、文殊菩薩に仕える霊獣であり、百獣の王でもある獅子が現れ、咲き誇る牡丹の花に戯れ遊び、御代の千秋万歳を言祝ぎ、豪壮な舞を舞います（獅子）。

囃子方にとっては大変重要な曲とされており、絢爛豪華で躍動感あふれる舞台が見どころです。



【交通のご案内】
JR（総武線）千駄ヶ谷駅下車 徒歩5分
都営地下鉄（大江戸線）国立競技場駅下車 A4出口 徒歩5分
東京メトロ（副都心線）北参道駅下車 出口1-2 徒歩7分
*駐車場がございませんので車の御来場は御遠慮ください。

入場料金 (全席指定) 正面 / 1,500円 脇正面 / 1,000円 中正面 / 700円
学生：脇正面 / 700円 中正面 / 500円

※障がい者の方は2割引です。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

発売日 電話・インターネット予約開始 / 2月9日(日) 午前10時より
窓口発売開始 / 2月10日(月) 午前10時より
(チケット売場 午前10時～午後6時) ※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

電話 国立劇場 チケットセンター (午前10時～午後6時)
0570-07-9900 03-3230-3000 (一部IP電話等)

インターネット 国立劇場チケットセンター 検索

●プレイガイド = チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/>
e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1
TEL. 03-3423-1331 (代)
<https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。●上演中は、時計等のアラーム音や携帯電話の電源をお切りください。●上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。